

令和7年8月6日

横浜市長 山中 竹春 様

横浜市寿生活館
指定管理者選定評価委員会
委員長 阪東 美智子

横浜市寿生活館指定候補者の選定結果について（報告）

標記の件につきまして、令和7年7月22日に第2回横浜市寿生活館指定管理者選定委員会で審査を行った結果、以下のとおり指定候補者を選定しましたので、報告いたします。

1 横浜市寿生活館指定候補者

候補者名：公益財団法人横浜市寿町健康福祉交流協会
代表者：理事長 豊澤 隆弘
所在地：横浜市中区寿町4丁目14番地

2 選定結果報告書

別添のとおり

横浜市寿生活館 指定候補者選定結果報告書

横浜市寿生活館の指定管理者の選定にあたり、横浜市寿生活館指定管理者選定評価委員会は、応募団体から提出された提案書類の審査及びヒアリングを行いました。

このたび、審査が終了し、指定候補者を決定いたしましたので、ここに選定結果を報告します。

1 横浜市寿生活館指定管理者選定評価委員会

委 員 氏 名	備 考
阪東 美智子 委員長	国立保健医療科学院 建築・施設管理研究部 上席主任研究官
加藤 靖 委員	NPO 法人 市民の会寿アルク 本牧荘 施設長
丹羽 多佳子 委員	横浜市不老町地域ケアプラザ 地域包括支援センター 主任介護支援専門員
林 州子 委員	済生会横浜市東部病院 療養福祉相談室 医療ソーシャルワーカー
森 哲哉 委員	公認会計士

2 選定経過

年 月 日	経 過
令和6年12月24日(火)	第1回横浜市寿生活館指定管理者選定委員会を開催 議題1：委員会の公開・非公開について 議題2：選定スケジュールについて 議題3：公募要項及び選定評価基準について
令和7年2月25日(月) ～4月21日(月)	横浜市寿生活館指定管理者公募要項配付
令和7年4月21日(月) ～4月25日(金)	横浜市寿生活館指定管理者応募受付
令和7年7月22日(火)	第2回横浜市寿生活館指定管理者選定委員会を開催 議題：指定候補者の選定

3 応募団体

1 団体のみ

候補者名：公益財団法人横浜市寿町健康福祉交流協会

代表者：理事長 豊澤 隆弘

所在地：横浜市中区寿町4丁目14番地

4 審査結果

横浜市寿生活館指定管理者選定評価委員会において、厳正な審査を行った結果、公益財団法人横浜市寿町健康福祉交流協会は横浜市寿生活館の管理・運営を安定して継続できると判断し、指定候補者として選定した。

5 審査得点

団体名	合計得点	得点率
公益財団法人 横浜市寿町健康福祉交流協会	543 点 (750 点満点)	72.4%

6 審査総評

団体名	総評
公益財団法人 横浜市寿町健康福祉交流協会	<ul style="list-style-type: none">● 職員の確保・育成が課題である。課題認識はあるが、解決に向けた具体策が足りない。現場任せにせず、法人全体で取り組んでほしい。貸出施設として供用している3階については、供用することで何を目指すかまで落とし込めていなかったように感じたため、検討してほしい。施設のハード面についても、寿町健康福祉交流センターで事業を行うことでカバーしているとのことだが、寿生活館と寿町健康福祉交流センターの役割分担が曖昧になってしまっているように感じた。● 市に対する意見だが、施設の条例では設置目的に「更正と福祉」とあるが、「更正」という言葉は今の時代になじまない。今後の寿生活館のありようを改めて考えるべきでは。● 寿生活館に対するスタンスが、協会と地元住民とで異なってしまっている印象。一刻も早く、施設責任者の知識・経験を引き継いでいく人材の配置を。寿町健康福祉交流センターで行っている寿生活館の事業についても、来るもの拒まずではあるが、寿生活館から利用者を連れて行く、というところまでには至っていないのでは。寿生活館という施設の今後の展望について、寿地区にある他の施設とのバランスも含めて考えていくべきでは。● 職員の確保や研修、育成について、具体的なビジョンが見えてこなかった。充電スペースのたこ足配線や喫煙スペース等、危機管理に関する箇所については今一度点検を。現状の予算で職員の増員が難しいのであれば、指定管理料の増額要求についても検討していくべきである。

- 持続可能な組織運営という観点から、職員の確保や人材育成を考えるべき時期では。指定管理料の増額で改善できるのであれば、検討していくべきである。
- 職員と施設のことを考えると、現状の収入ではやりくりが難しいのでは。施設の持続可能性という観点から、洗濯機やシャワー等、衛生確保を中心とした施設に転換していく方向性も含め、今後の寿生活館のありようを、協会と横浜市が一緒に検討していくべきである。